

## 三菱化工機ニュース（プレスリリース情報）

No.446 平成30年3月23日  
企画部 経営企画グループ

### 平成29年度下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）

#### 「高効率消化システムによる地産地消エネルギー活用技術の実用化に関する実証研究」の完成式典について

三菱化工機株式会社（本社：川崎市川崎区大川町2番1号 取締役社長：高木紀一）が、唐津市、九州大学、日本下水道事業団で共同提案し、平成29年度国土交通省国土技術政策総合研究所からの委託研究として実施している「高効率消化システムによる地産地消エネルギー活用技術の実用化に関する実証研究」の実証研究施設がこの度完成致しました。

つきましては、実証施設の完成を記念して下記の通り式典を執り行う運びとなりました。

本実証事業は、革新的な3つの技術の組み合わせにより、汚泥処理工程における消化率の改善を図ることで、排出汚泥量の削減効果などが期待されます。また、本実証事業では、再生可能エネルギーとして注目されるバイオガスの増量や、外部からの地域バイオマス等の受入れにより、地産地消エネルギーを積極的に活用し、新しいまちづくりにつなげる地域貢献型システムモデルの構築を検証します。

主な特長は次の3点です。

#### ①無動力攪拌式消化槽の導入

発生するバイオガスによる圧力を利用することで、機械的動力を用いずに消化槽内の攪拌を行う省エネ型の消化槽です。また、従来の機械攪拌方式と比較し、攪拌動力の削減に加え、内部に機械設備を持たない為、メンテナンス性にも優れております。

#### ②高効率加温設備（可溶化装置）

汚泥を熱加水分解により可溶化・改質することで、消化率改善によるバイオガスの増収・発生汚泥量削減、消化汚泥の脱水性改善による発生汚泥量削減、熱加水分解作用による消化日数の短縮効果が期待されます。

#### ③固体酸化物形燃料電池（SOFC）

電極触媒に高価な白金を使用せずに高い発電効率有する次世代燃料電池であるが、バイオガス分野での導入事例はなく、本実証研究では前段にメタン濃縮設備を用いず、硫化水素とシロキサン除去のみの簡易な前処理でバイオガスを燃料電池に供給致します。

完成式典は次の要領にて開催致します。

- |         |                                                       |
|---------|-------------------------------------------------------|
| 1 日 時   | 平成30年3月31日（土）14：00～15：00                              |
| 2 実施場所  | 唐津市浄水センター（佐賀県唐津市ニタ子3丁目-1-6）                           |
| 3 主催者   | 三菱化工機（株）・唐津市・九州大学・日本下水道事業団共同研究体                       |
| 4 次第    | 1) 主催者挨拶<br>2) 来賓祝辞<br>3) 来賓紹介<br>4) テープカット           |
| 5 施設見学会 | 15：05～<br>(式典の終了時間によっては、開始時刻が前後することがあります。)            |
| 6 出席者   | ご来賓：国会議員、市議会議員、国、県、地元関係者等<br>共同研究体：峰唐津市長ほか、各共同研究体の関係者 |
| 7 その他   | <u>駐車場は式典会場横にございます。</u>                               |

以上

お問い合わせ先

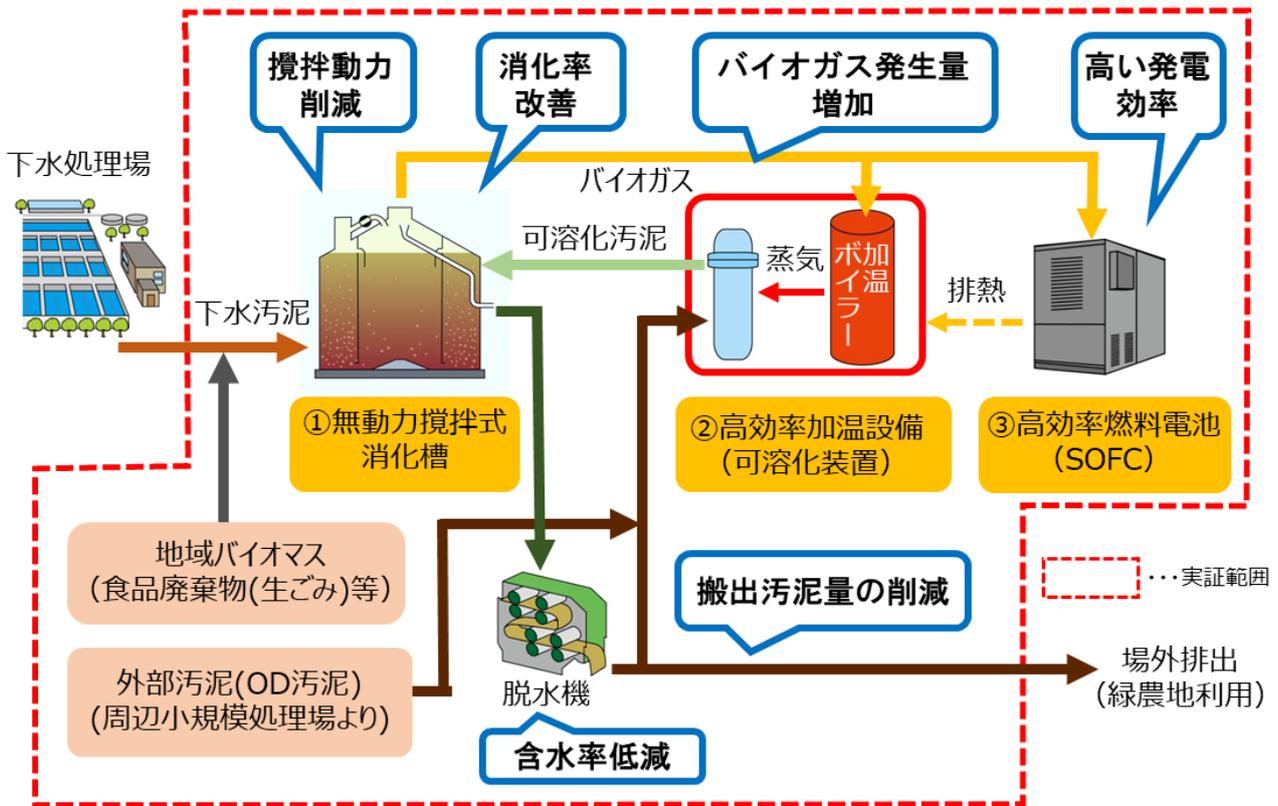
三菱化工機ニュース（プレスリリース情報）

No.446 平成30年3月23日  
企画部 経営企画グループ

平成29年度下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）

「高効率消化システムによる地産地消エネルギー活用技術の実用化に関する実証研究」の完成式典について

設備フロー図



お問い合わせ先